

ギターの魅力に夢中です!



『かのん』は、平成10年10月に中央公民館で初心者ばかりの4人で結成した、ギターアンサンブルのサークルです。若手ギタリスト・佐藤正隆先生の優しい指導により、個人レッスン、アンサンブル練習にと、楽しく励み、現在は20、30、40代、独身、既婚、男性、女性と、幅広い仲間9人で活動しています。今年3月の「公民館まつり」で初舞台を経験し、メンバー全員がギターの魅力に、より一層夢中です。主に、第2、4月曜日の10:00~12:00、中央公民館のどこの部屋で活動しています。(ギターの音が聞こえるので、すぐわかります。)興味のある方は、ぜひ気軽に見学にいらしてください。待っています。

市民文芸

応募方法

一人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0257白石市字巨理町37-3、白石市情報センターへ。短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

歌壇

高橋辰男 選

旅の湯で出会いし唄分けくれし山菜今宵てんぷらにする
 平間 久子
 ライラック咲きしハルビン思い出すエキソチックな若き日の街
 村山美代子
 老木の桜並木の続く土手とこころに若木立ちたり
 黒沢 修子
 タクれない雷なりてひょうが降り音すまじくトタン屋根打つ
 佐藤 とく
 漸くに天気納まり消毒す松よ今年もみどり燃やせ
 大槻 正兄
 孫が来て蛙の合唱耳にして何千匹も居るのかと聞く
 岩松 貞子
 桜草次はどうだん咲きつぎてわが家の庭は春花盛り
 太田 敏子
 満開の桜を見んと雨のなかくも車窓を幾度も拭く
 山田 瀧
 なよたけの如く見えにし君なれど奥深く潜む心の強さよ
 鈴木久美子
 春雨にれんぎょうの花咲けば思ふ夫逝きてより一年過ぐ
 岡崎 澄子
評一首目。山の湯での見知らぬ人との心温まる交流。山菜はたらの芽だろつか。一首目。敗戦して苦難の歳月を経た今も、若き日の旧満州の美しい街は決して忘れることはない。三首目。世代交代のための若木は、桜の名所によく見られる。気負わず平易単純に表現された。

俳壇

遠藤秋尾 選

この国の老々介護春寒し
 山家 弘子
 摘みし手に次の蔵にある視線
 三浦 愛嶺
 藤房の長短にある風の道
 大庭 良子
 笹巻や祖母の手許に集中す
 岩沢 伍峯
 西行の霊守る花の吹雪かな
 佐藤 周子
 空洞の幹もて咲かず老桜
 雨止みてまぶくし句う若葉かな
 高子たちばな
 春暁の雨音聞へて又眠る
 高橋 正雄
 笛の配られており留守の間に
 川村 静恵
 天守閣夕日まぶしく花吹雪
 阿部はぎの
評一首目。世界一の長寿を誇る国となつて久しい。しつかりしていた親も老い、介護する息子や嫁も老境に入った。春寒のある日、ふと不安がよぎる。二首目。ワラビ摘みの句。次のワラビにもう視線がいつているのである。佳句。三首目。フジの花が見事な房となつて美しくお。フジ房の長短に風の道があること揺らすのである。十首目の俳句はこれより、素直に表現された。

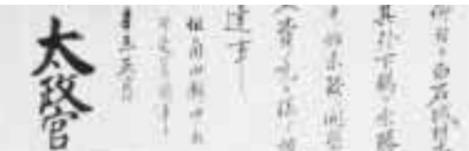
柳壇

山田風流 選

花狭み花の命を断ち切れず
 一條 若子
 傘の雫も想いもさつと切つた朝
 米沢 礼子
 国会のような答弁したくなり
 大庭 良子
 プロセスに価値を見い出す三三菜園
 大沼 妙子
 定年は惜しい人だと追い出され
 佐藤 武雄
 見栄を張る他人には言えぬ火の車
 草野 清
 古希迎えは喜寿へと趣味に生く
 鈴木 希市
 看病に休みが欲しい日曜日
 秋野 桜子
 春休み猫の手よりもましな孫
 高橋 要一
 私のライフプランをガン犯す
 大野 修一
評一首目。はさみで花を切ろうとしたとき命を絶つことにためらいを感じ、逡巡した作者の温かい心。万物に対して思いやりと感謝を持って接したいものです。二首目。断ち難い情念も思い切つてサツと断ち切る心の転換、前進あるのみ。三首目。言語明瞭、意味不明、一般社会では通用しなくとも、永田町では大手を振つてまかり通る。ほかの句も佳句が多く、選者泣かせ。

白石の古文書③

片倉家の北海道開拓資料³
 明治三年五月、片倉家開拓役所が山崎屋から借用した開拓資金は、実は、按察府からの預かり金の内から融資したものであった。この借財の返済は、幌別郡の産物の鮭や昆布などで、七力年賦で完済する約束であった。この年の秋、第一回目の償還のため物産を発送したが、寒風沢港への途中、釜石沖で遭難して失ってしまった。さらに、幌別開拓も



開拓費用として白石城廃棄処分許可の辞令

軌道に乗らず、二回目からの返済のめどが立たなくなつた。しかし、按察府は、年賦の返済と開拓の成功は、是が非でも達成させなければならぬこと、しかも、九月には按察府の廃止が決定されており、困り果てていた。一方、片倉家開拓役所も、返済金と開拓費不足の解消に悩んでいた。そこで、白石城の売却費をこれに充てるべく、白石城の払い下げを按察府に建議、これを受けて、白石城の払い下げの許可を出したが、このときは既に元按察府の名であった。

(白石市図書館所蔵)

カロラインの

国際コーナー

International Corner



白石に来てから、もうすぐ2年になります。あっという間に過ぎてしまった感じがしています。その2年間で、たくさんの人と知り合いになって、いろいろな面白くて、楽しい経験をしました。日本の文化は、私の出身アイルランドの文化と全然違うので、日本にいる間に、いろいろなことを経験したいと思います。大学で日本について言語以外もたくさん学びました。しかし、教科書からでは、ある程度までしか勉強できません。一番いい勉強は実際に経験することだと思います。白石の市民の皆さんは本当にラッキーだと思います。公民館や働く婦人の家、ALTAなどの施設があり、そこでいろいろな講座を受けることができ、日本の伝統的な文化についても学べます。私も日本の文化をもっと理解できるように、この施設を利用しています。日本のことに興味があり、5月に友達から“田植えやってみない?”と誘われたとき、すぐに“やってみよう”と答えました。そして、その翌週、

大鷹沢三沢の「八枚田」で初めての田植えをしました!八枚田はあまり広くなく、その地区の人々と一緒にしたので、すぐ終わりました。植えたのはもち米で、周りの人に比べると、私が植えた分はちょっと曲がりくねったかも知れませんが、楽しかったです!おいしい米になるかな...



初めての田植え、とても楽しかったヨ!(大鷹沢三沢地区)